

東京湾奥鶴見出船

撮影◎竹川啓一

合わせが決まるとクセになる 東京湾のマゴチ絶好調



●40〜45センチ
級がアベレージ



●合わせは迷わず、しっかりと!



●アタリは活発



●まだまだ好調
が続くはずだ



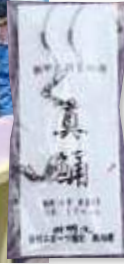
●女性のファンも多い



●船のイケスにマゴチを入れるときは目印を付けておこう



▲7月後半も期待大



▲船宿仕掛けはスキババリ16号ハリス6号1.7メートル使用オモリ15号



▼マゴチは頭部に鋭いトゲがあるので持つときはタオルなどを使うと安心



●熱中症対策は万全に



●エサはサイマキ

●しっかりと竿を立てて魚を寄せよう



●上フコに掛かれは合わせはハッチリ

今シーズンも好調をキープしている東京湾のマゴチ。取材した鶴見の新明丸では、40〜45センチ級を中心に連日トップが5本以上、船中全員がマゴチを手にする日もある釣れっぷりが続いている。

7月上旬現在メインとなっているのは大貫沖の水深10メートル前後だが、同船では船着き場から目と鼻の先の東扇島周りで好釣果が上がり始めている。エビや小魚などの生きエサを使うマゴチ釣りならではの、アタリが出てから合わせるまでの駆け引きと、合わせが決まったときの快感を味わおう。

(詳細は52ページ参照)

◎東京湾奥鶴見・新明丸
新明 慶樹船長

